

エキノコックス症について

1 基礎知識

私たちの住んでいる北海道には、エキノコックス症という他の都府県ではあまり見られない病気があります。この病気はエキノコックスという名前の寄生虫が主に肝臓に寄生しておこります。

と畜検査でエキノコックスに感染した豚が確認されたということは、農場がエキノコックスに汚染されている可能性があり、そこで働く人たちにも、感染する危険性があるということになります。

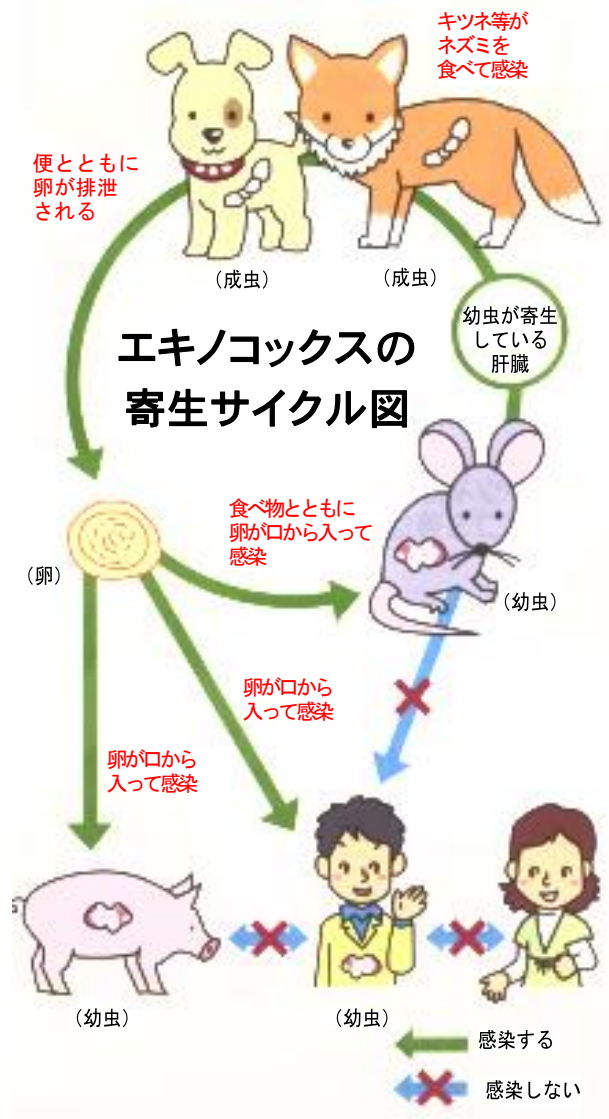
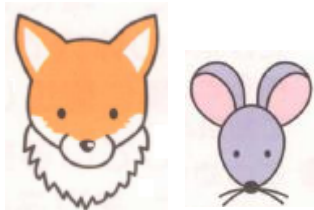
2 エキノコックスとは

エキノコックスは、自然界においては、主にキツネと野ネズミに寄生しています。

成虫は、キツネの腸に寄生して卵を産み、その卵が糞と一緒に排出され、野ネズミが木の芽などと一緒にこの卵を食べると、野ネズミの体内で卵がかえって幼虫となり、肝臓に寄生します。

この、キツネから排出された卵を、人や豚が口にすると感染してしまいます。

また、犬もキツネ同様にエキノコックスに感染した野ネズミを食べると感染しますので、犬を飼っている方は、飼い方に注意が必要です。



3 人の症状

人にエキノコックスが感染しても、すぐには自覚症状が現れません。無症状のまま見つかる人もいますが、数年から10数年かけて肝臓が悪くなり、肝機能障害による疲れやすさや黄疸等の症状が現れ、放っておくと命にかかわることもあります。

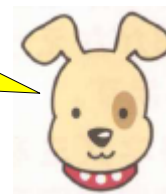
治療は、薬によるものもありますが、根治的な治療は、病巣部分を手術で切除する方法です。その場合でも、早期に発見できれば、完全な治癒が可能となります。

4 感染予防 ～人が感染しないために～

- (1) 作業後は必ず手を洗いましょう。
- (2) 農場付近で野菜などを自家栽培している場合は、十分に加熱もしくはよく水洗いしてから食べましょう。
- (3) 早期発見のため、各市町村が実施する健康診断（血液検査）を積極的に受診しましょう。
- (4) 飼い犬が野ネズミを食べて感染しないように、放し飼いはやめましょう。

飼い犬の感染を疑う場合は、一度、獣医師にエキノコックスの検査をしてもらうとよいでしょう。

駆虫薬で駆除できます。



5 感染予防 ～豚が感染しないために～

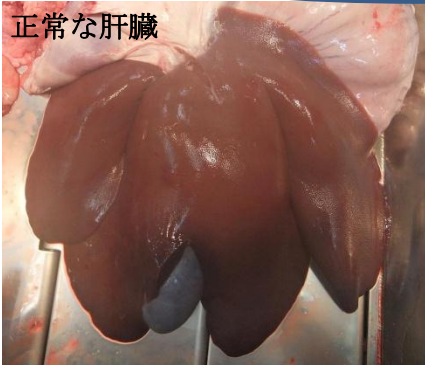
- (1) キツネが豚舎に近寄らないように、キツネの餌付けをしないことはもちろん、生ゴミや豚のいわゆる『後産（あとざん）』など、キツネの餌になるようなものは適正に処理しましょう。
- (2) 豚舎に入るときは、長靴の靴底を洗うなどして、キツネの糞を持ち込まないようにしましょう。



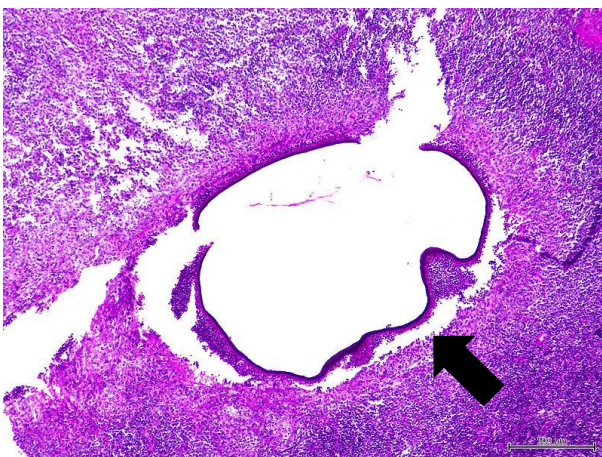
このリーフレットは、北海道保健福祉部の「エキノコックス症の知識と予防」を元に作成しております。北海道のホームページに原本とQ&Aもありますので参考にしてください。
アドレス：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/0000contents/ekino/>

北海道岩見沢食肉衛生検査所指導課
電話：0126-24-8360 FAX：0126-24-8361

豚のエキノコックス症



エキノコックスが寄生した豚の肝臓の一部です。(写真提供：早来食肉衛生検査所)
と畜検査で、このように、ブドウ房状の灰黄白色の結節がある肝臓が認められると、『寄生虫性結節』として、肝臓を廃棄します。



<病理学的検査>

顕微鏡による検査で、特徴的なクチクラ層（包虫嚢胞）を確認し、エキノコックス症の確定診断を行います。(写真矢印)

『寄生虫性結節』で廃棄されている肝臓は、ほとんどがエキノコックス症によるものです。